

成田市インターネット市政モニター アンケート集計結果

第 99 回のテーマは「なりみちプロジェクト(にぎわい創出のための道路空間活用実証実験)に関するアンケート」でした。

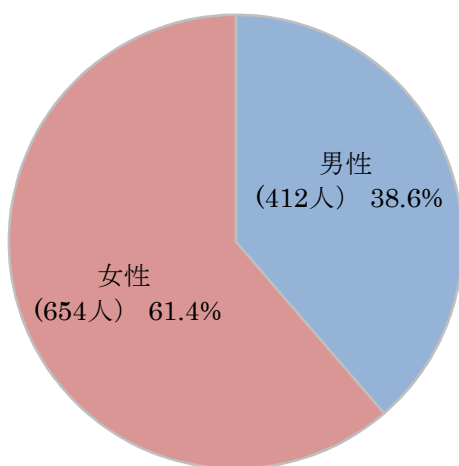
配信者数:1,560 人

実施期間:令和 6 年 8 月 16 日(金)～8 月 26 日(月)

回答者数(回答率):1,066 人(68.3%)

性別

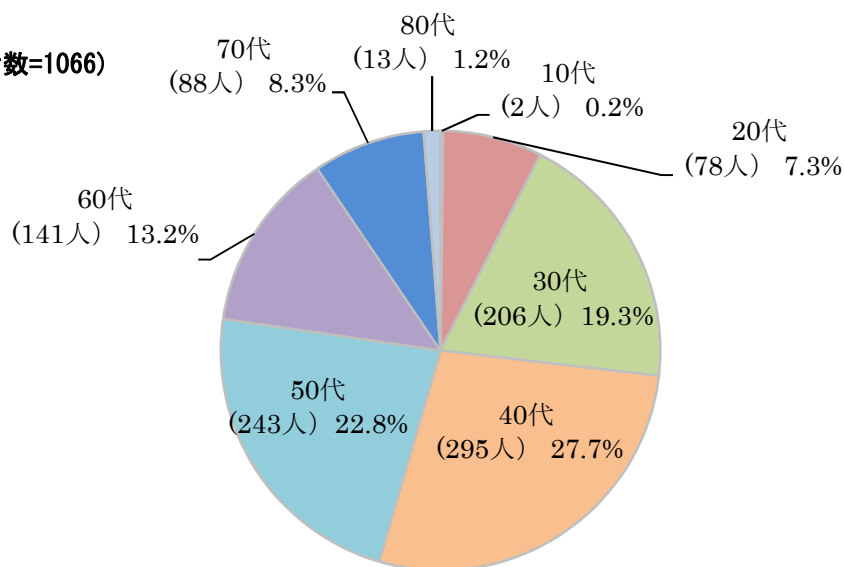
(回答者数=1066)



単一回答		人	%
全体		(1066)	
1	男性	412	38.6
2	女性	654	61.4

年代

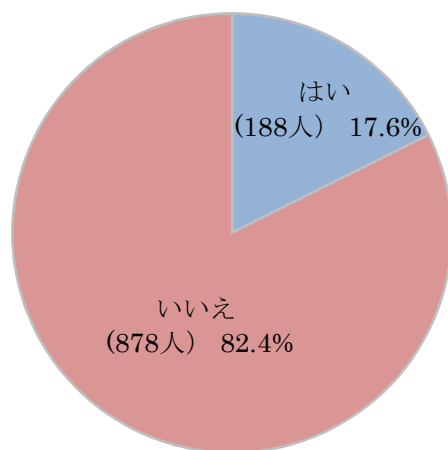
(回答者数=1066)



単一回答		人	%
全体		(1066)	
2	10代	2	0.2
3	20代	78	7.3
4	30代	206	19.3
5	40代	295	27.7
6	50代	243	22.8
7	60代	141	13.2
8	70代	88	8.3
9	80代	13	1.2

【Q1】 JR成田駅、京成成田駅、京成公津の杜駅の駅前に出店したキッチンカー等を利用したことがありますか。

(回答者数=1066)



単一回答		人	%
全体		(1066)	
1	はい	188	17.6
2	いいえ	878	82.4

【分析結果】

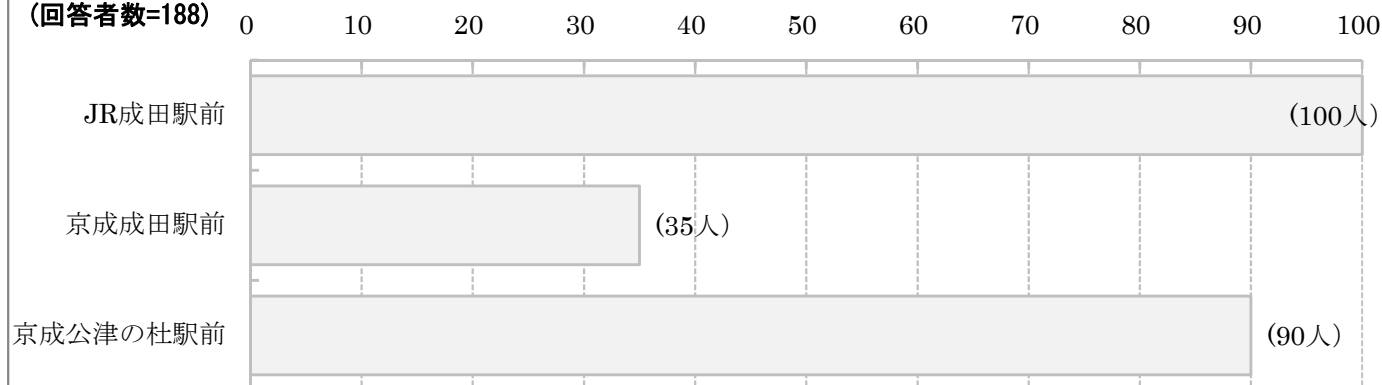
駅前に出店したキッチンカー等の利用者としては、「はい」が全体の 2 割程度であるのに対し、「いいえ」が 8 割程度という結果となりました。

制度の周知という側面では、行政回覧や市ホームページ、SNS、ポスター等での周知を行いましたが、他の周知方法についても検討する必要があるようです。

また、キッチンカーの商品価格や、実証実験を行う場所・時間帯などが影響した可能性も考えられることから、今後も引き続き、課題の検証が必要と思われます。

【Q2】 Q1で「はい」を選択した方にお伺いします。 JR成田駅、京成成田駅、京成公津の杜駅の駅前のうち、どこで利用しましたか。

(回答者数=188)

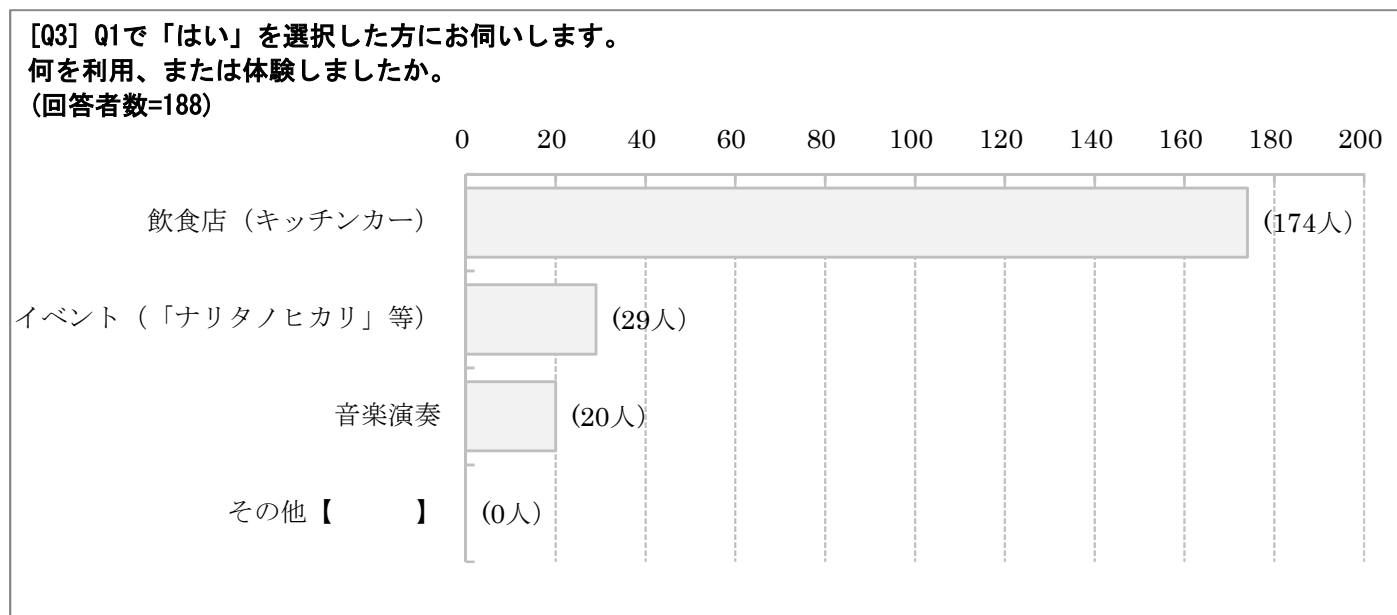


複数回答		人	%
全体		(188)	
1	JR成田駅前	100	53.2
2	京成成田駅前	35	18.6
3	京成公津の杜駅前	90	47.9

【分析結果】

駅前に出店したキッチンカー等の利用者の内訳は、JR 成田駅が最も多く 100 人(約 53%)、次いで、京成

公津の杜駅前の 90 人(約 48%)、京成成田駅前の 35 人(約 19%)でした。人通りが多い JR 成田駅前や、学生の多い京成公津の杜駅前での利用が多いようです。



複数回答	人	%
全体	(188)	
1 飲食店（キッチンカー）	174	92.6
2 イベント（「ナリタノヒカリ」等）	29	15.4
3 音楽演奏	20	10.6
4 その他【 】	0	0.0

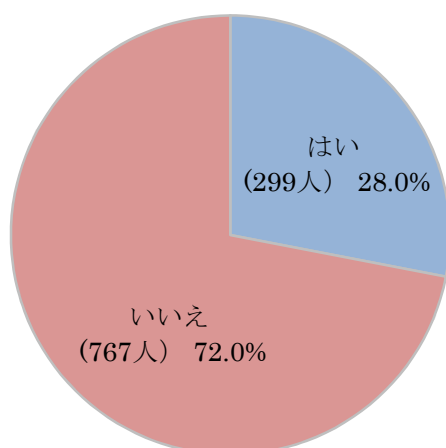
【分析結果】

利用(体験)した事項については、飲食店(キッチンカー)が最も多く 179 人(約 95%)で、イベントの 29 人(約 15%)、音楽演奏の 20 人(約 11%)と続きました。実験に参加された事業者が多く、日によっても変わるキッチンカーを利用された方が多いようです。

一方で、「ナリタノヒカリ」などの日数が限定されたイベントや、出展の少ない音楽演奏を利用(体験)された方も一定数いたことが確認できます。

誰もが利用する道路空間において、今後もこれまでにない活用方法の広がりが期待できます。

【Q4】 JR成田駅前に設置したテーブルやベンチを利用したことがありますか。
(回答者数=1066)



単一回答		人	%
全体		(1066)	
1	はい	299	28.0
2	いいえ	767	72.0

【分析結果】

JR 成田駅前に設置したテーブルやベンチの利用の有無については、利用したことがある方が 299 人(約 28%)、利用したことがない方が 767 人(約 72%)でした。

利用したことない方が回答者全体の約 7 割でしたが、一方で、令和 4 年 11 月に実施した「ほこみち制度(歩行者利便増進道路制度)に関するアンケート」において、駅の利用頻度を「月 2～3 回」、「年に数回」、「利用しない」と回答した方もまた、回答者全体の約 7 割でありました。

したがって、普段駅を利用する方については、その多くがテーブルやベンチを利用したことがあるものと推測されます。

Q5 Q4 で「はい」を選択した方にお伺いします。どういった際に利用しましたか。

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 買い物途中の休憩のため
- 駅での待ち合わせの際
- 買い物等の後一休みのために利用した
- 休憩や友人との雑談
- お祭りの時に、待ち合わせに利用した
- キッチンカーで買ったものを食べる時に使用
- キッチンカーでお買い物したとき
- 疲れた時や荷物整理、時間調整の際などに利用
- 休憩や軽食を摂る際
- 初詣に行った際、屋台で購入したものを食べた時
- 電車やバスの時間までまだ余裕があったときに休憩で利用しました。
- 祇園祭の時、屋台の食べ物を食べる時に利用した
- 外出途中で軽食をとったり休憩をしたりするとき

- ちょっと一息つきたい時、友達と待ち合わせした時
- 待ち合わせやカバンの中の荷物をまとめる際に利用しました
- キッチンカーでドリンクを注文した時にベンチを利用しました
- 成田山まで遊びに行き休憩するときにベンチを使用
- 友達と待ち合わせに使いました！
- 歩き疲れて休憩する時に利用しました
- イルミネーションを見るため
- 歌舞伎時計を見に行く
- 参道での催し物があった時
- からくり人形見物や人との待ち合わせ
- 参道のお店で買ったものを食べる時に利用しました。
- 徒歩で疲れた時に一旦休憩する際に利用したことはあります
- 休憩、時計台等周辺景色の鑑賞
- 駅近辺で、買い物した時 あと、休憩したい時など
- 祭りの鑑賞や待ち合わせ

【分析結果】

主な意見を集計したところ、以下の通りとなりました。

人との待ち合わせ	(105 件)
休憩・雑談	(104 件)
飲食	(26 件)
バス、電車、タクシーの待ち時間	(35 件)
イベント	(9 件)

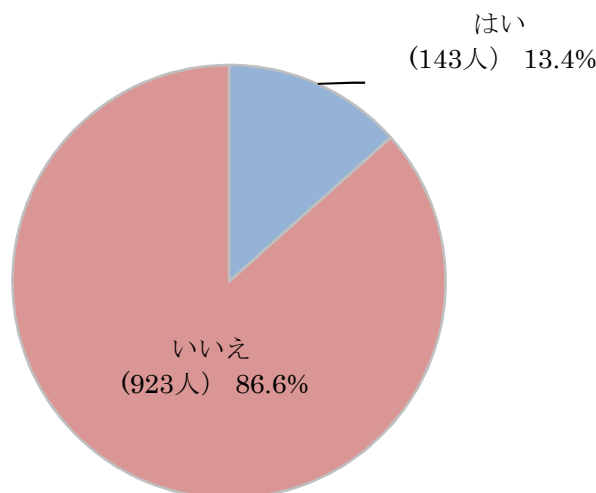
ベンチ利用者の利用方法は、「休憩・雑談」や「待ち合わせ」とする意見が多くありました。

ベンチの設置により、JR 成田駅周辺に人が滞留していることがわかり、ほこみちの目的である「歩行者の滞留・賑わいの空間の創出」に寄与していることが伺えます。また、キッチンカーで購入した物の飲食など、実証実験との相乗効果も発揮されています。

その他には、イベントやからくり時計、イルミネーションの鑑賞という意見もあり、駅周辺のイベントやシンボルとも関連する様子が見て取れます。

【Q6】これらの取組が、実証実験（なりみちプロジェクト）として実施していたことを知っていましたか。

（回答者数=1066）



単一回答		人	%
全体		(1066)	
1	はい	143	13.4
2	いいえ	923	86.6

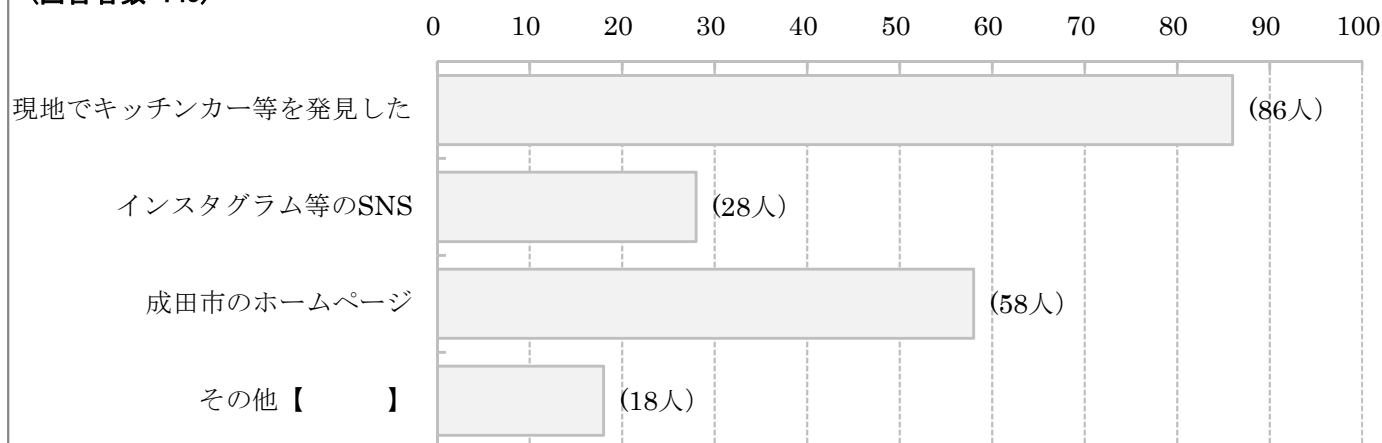
【分析結果】

実証実験（なりみちプロジェクト）については、知っていた方が 143 人（約 13％）に対し、知らなかった方が 923 人（約 87％）となりました。

Q1 において、キッチンカー等を利用した方については 188 人（約 18％）であったため、利用した方の多くは、実証実験について知っていた可能性が高いものと思われます。

今後は、キッチンカー等を利用していない方向けの PR も考える必要がありそうです。

【Q7】 Q6で「はい」を選択した方にお伺いします。
実証実験（なりみちプロジェクト）の実施を何で知りましたか。
（回答者数=143）



複数回答		人	%
全体		(143)	
1	現地でキッチンカー等を発見した	86	60.1
2	インスタグラム等のSNS	28	19.6
3	成田市のホームページ	58	40.6
4	その他【 】	18	12.6

その他の意見(抜粋)

- 張り紙があり、読んだ。
- 歩いていてポスターを見た。
- 職員や関係者から聞いた。
- 出店された方から聞いた。
- 以前実施された市政モニターアンケートで知った。

【分析結果】

実証実験(なりみちプロジェクト)のを知ったきっかけについては、現地でキッチンカー等を発見した方が 86 人(約 60%)に対し、次いで、市のホームページが 58 人(約 37%)、インスタグラム等の SNS が 28 人(約 20%)となりました。

現地を通りかかった際に知った方が最も多いようです。また、駅周辺の掲示物や、市職員・出店者などの関係者から話を聞いた方もいました。

Q8 Q6 で「いいえ」を選択した方にお伺いします。実証実験(なりみちプロジェクト)をどのような方法で周知をすれば効果があると思いますか。

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 広報なりた、成田ケーブルテレビで宣伝など
- 高齢者の方への周知には回覧板が有効です。それ以外の比較的若い年代の方々には SNS での案内が良いと思います。
- ロゴを作る。そしてベンチなどの設置物にはステッカーや焼印等で認知してもらう。キッチンカーにはのぼりを提供してはどうか。
- 学校から配布されたチラシは保護者も目を通すので認知は広がると思います
- 実施している場所で、利用するテーブルやキッチンカーにうなりくんの告知シールなどで表示する。
- 一定期間でいいので、キッチンカーやベンチのそばにや公園やジムやコンビニなどの店舗などに、取り組みについての看板を立てる。
- 広報なりたやエリート情報など、不特定多数の人が読む紙面に、記載する。ケーブルテレビでお知らせをする。
- 通りすがりの人が気付くようにその場所に目立つように看板を置く、各戸回覧で周知など。公津の杜駅前のキッチンカーについては、出店しているけど地元商店街が何かやってるのかな？くらいの気持ちで通り過ぎてしまいました。
- 近隣に看板を立てたり回覧板をまわす
- 成田市の LINE やインスタグラムで PR する。民間企業の協力を得る。
- 簡単な説明文を掲示する(ラミネートした紙をベンチに貼るなど)
- キッチンカーでの出店の際に、プロジェクトについての概要を一緒に掲示してもらう
- 広報なりたや図書館など駅に行かない方も目にするとところに広告をのせる方法
- 成田市の公式 LINE、Instagram なら比較的若い人に、広報なら年齢層高めの人に周知できると思います。
- 「なりみちプロジェクト実施中」のペナントや表示を現場に設置
- チラシやキッチンカー、ベンチの前に張り紙をしておく
- 宣伝を兼ねシンボルマークを創設し、市民からアイデアを募って、公開コンペにするとかしたらどうでしょう。受賞マークは対象物にシンボルマークを貼るなどしては。
- 成田市 LINE やアプリなどで周知 LINE やアプリでのお知らせにクーポンなどをつける

- 公式 LINE、Instagram、イオンや映画館などの商業施設の広告
- 広報なりたで大きく取り上げる。
- なりみちプロジェクトをこのアンケートで初めて知りました 学校や職場を通じて告知されれば意識はすると思います
- 電車の待ち時間に構内のチラシにはよく目を通しているの、そういった場所に広告を出せばある程度効果はあると思う
- 市報や地域新聞などローカルな媒体だけでなく、観光用のパンフレットに写真を入れることで、地元以外の人にも使えるし、写真を取れるスポットになるのでは？
- 公共施設のトイレの内側(良く飲食店でトイレを使うと宣伝だったり、綺麗に使ってくれてありがとうみたいな事が書いてある)そこに「なりみちプロジェクト」の事を書いて貼ってみたら普段広報などを見ない方にも目につきやすいかも。特にトイレ限定では無いが、例えば市役所の駐車券とか難しいかも知れないが JR 構内とかも。
- ベンチやテーブルになりみちプロジェクトのロゴを付ける”
- 熱中症警戒アラートのお知らせメールに追加する
- 参加賞とか(期間を設けて)みたらちょっと関心持ってもらえるのでは？と思います。
- 広報への記載や小学校・中学校への児童・生徒へのチラシなどの配布

【分析結果】

主な意見を集計したところ、以下の通りとなりました。

広報誌・ポスター(張り紙)・チラシ等の紙面	(429 件)
SNS・メール・ホームページ・ネット広告	(247 件)
看板や構造物(テーブル、ベンチ、のぼり旗等)の利用	(115 件)
テレビ・ラジオ・防災無線等の映像・音声メディア	(51 件)
学校や職場を通じた周知活動	(35 件)
実証実験の出店者を通じた周知活動	(19 件)

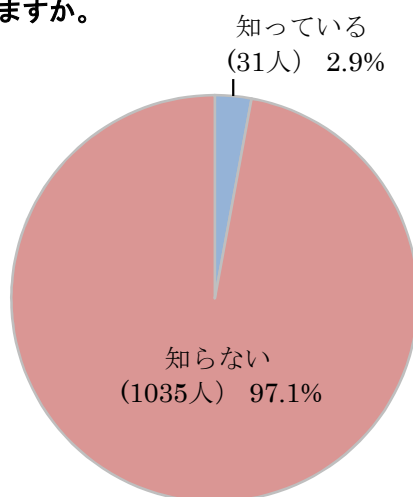
実証実験の周知方法は、「広報誌などの活用」や「SNS 等の活用」が多数でした。

また、「現地のテーブルやベンチ、のぼり旗による周知」や「出店者を通じた周知」が現場を通りかかる方にとって有効であるという意見や、「誰もが見るテレビなどによる周知」や「学校の子供を通じた周知」なども効果があるという意見も多くみられました。

広報誌や SNS は活用しましたが、現地の広告等は現状少ないことから、工夫の余地がありそうです。

その他では、「イベント等での周知」、「ロゴのステッカーを作り配布する」などの意見が見られました。

【Q9】 実証実験（なりみちプロジェクト）のインスタグラムのアカウントを知っていますか。
（回答者数=1066）



単一回答		人	%
全体		(1066)	
1	知っている	31	2.9
2	知らない	1035	97.1

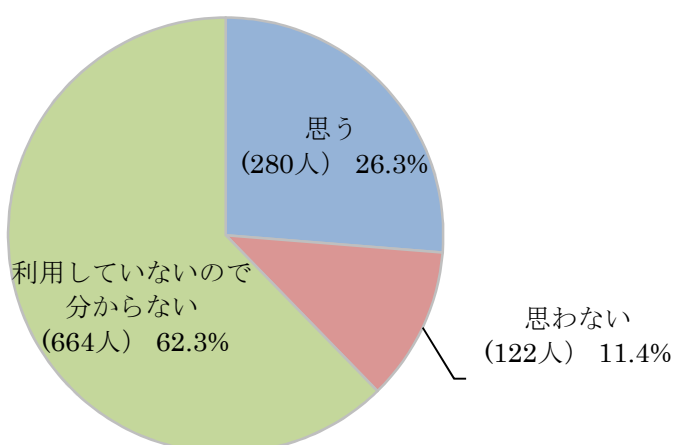
【分析結果】

実証実験（なりみちプロジェクト）のInstagramアカウントについては、知っている方が 31 人（約 3%）に対し、知らない方が 1,035 人（約 97%）となりました。

大多数の方が知らない結果であったことから、実証実験の検討状況を随時更新したり、出店者等のInstagramを通じて広めたりするなど、フォロワーの増加に向けて投稿内容を工夫する必要があります。

また、Instagramに限らず、他の SNS を併せて活用することも考えられます。

【Q10】 これらの取組が、にぎわいの創出やまちの魅力向上につながったと思いますか。
（回答者数=1066）

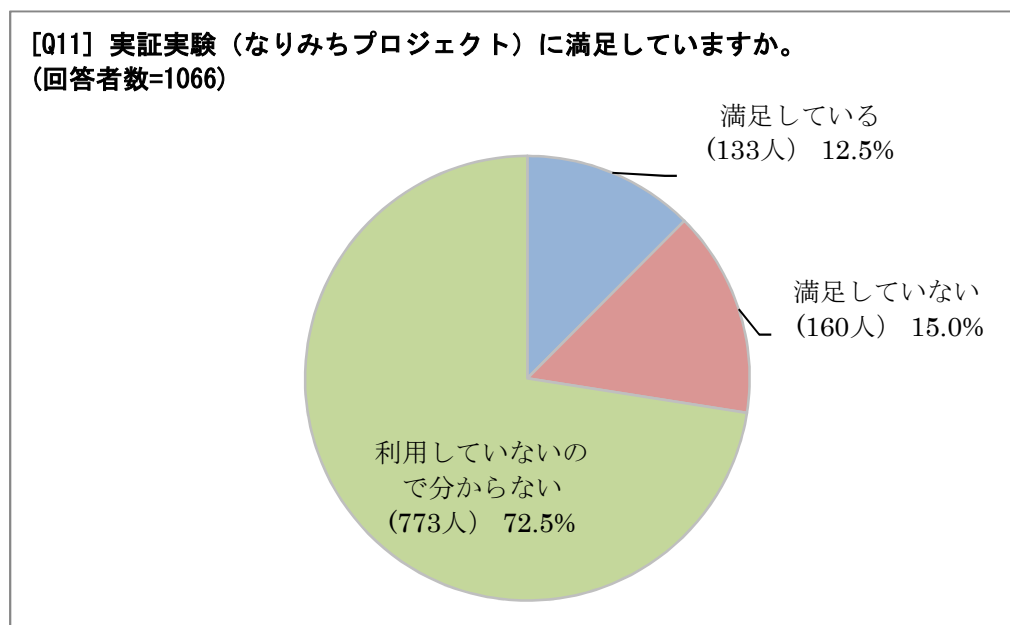


単一回答		人	%
全体		(1066)	
1	思う	280	26.3
2	思わない	122	11.4
3	利用していないので分からない	664	62.3

【分析結果】

ほこみちに関する取り組みがにぎわいの創出やまちの魅力向上につながったかについては、そう思われる方が 280 人(約 26%)、そう思わない方が 122 人(約 12%)となりました。なお、利用していないので分からないとする方が 664 人(約 62%)でした。

利用した方の中では、ベンチやテーブルの設置、キッチンカー等の出店により、まちのにぎわいが創出されたと感じる方が多いようです。



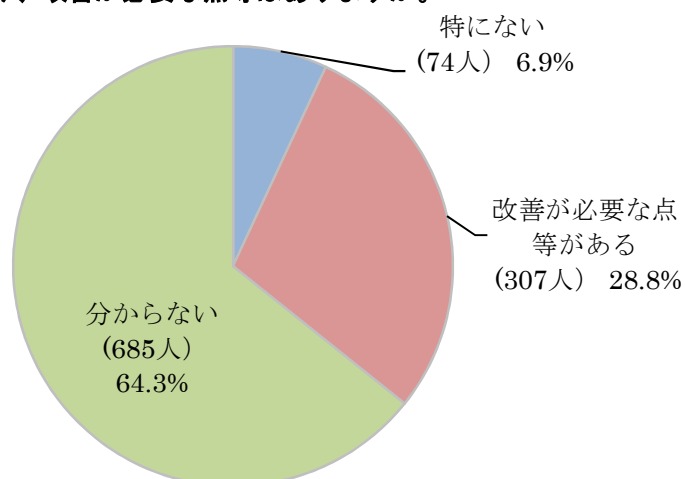
単一回答		人	%
全体		(1066)	
1	満足している	133	12.5
2	満足していない	160	15.0
3	利用していないので分からない	773	72.5

【分析結果】

実証実験(なりみちプロジェクト)の満足度については、満足している方が 133 人(約 13%)に対し、満足していない方が 160 人(約 15%)となりました。なお、利用していないので分からないとする方が 773 人(約 72%)でした。

満足している方としていない方が同じくらいの人数でした。満足していない方が一定数いましたが、Q12 において「改善点がある」とする方も多いため、「改善点があるため満足していない」と考えた方が一定数いたものと思われます。

【Q12】 実証実験（なりみちプロジェクト）の目的は、ほこみち制度の活用に向けて事前に課題等を把握するためのものですが、今後の本格実施に向け、改善が必要な点等がありますか。
（回答者数=1066）



単一回答		人	%
全体		(1066)	
1	特にない	74	6.9
2	改善が必要な点等がある	307	28.8
3	分からない	685	64.3

【分析結果】

本格実施に向けて、改善が必要な点等があるかどうかについては、特にないとする方が 74 人(約 7%)に対し、改善が必要な点等があるとする方が 307 人(約 29%)でした。なお、分からないとする方は 685 人(約 64%)でした。寄せられた具体的な改善点については、Q13 の通りです。

Q13 Q12 で「改善が必要な点等がある」を選択した方にお伺いします。改善が必要な点等とは具体的にはどのようなことですか。

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 私は公津の杜駅をよく利用するのですが、最近敷地内にキッチンカーがあるのを見かけて、正直ずっと無許可営業だと思っていました…。このアンケート内容を見て初めて公的プロジェクトだと知ったので、もう少し現場で分かる形で周知が必要だと思いました。
- どんな店があるのかななど行くまで知らなかったもので、周知や呼びかけが足りないと思いました。
- 実証実験の内容や結果等が分かりやすく見られるといいと思う。
- 成田駅でのキッチンカーやテーブル設置は知っているが、規模が小さすぎて地味。テーブルや椅子の設置は良いと思うが、ゴミ箱も近くに設置した方が良い。
- キッチンカーの出店台数を増やすことと、テーブルや椅子を増やして、もっと気軽にいろんな人が参加出来るようにして欲しい。
- 食べ歩きや気軽に座って休めるようになることや、季節やイベントに合わせて、キッチンカーの種類を変えるなどが良いと思います。
- キッチンカーやベンチの取り組みはとても良い事だと思います。今後ミニコンサートや大道芸、街ピアノなど、気軽に参加できるイベントがあると足を運びやすいと思います。特に参道の千葉銀行跡地など、ツーリストや地元民も行きやすい場所で『蚤の市』や『ファーマーズマーケット』など開催されると交流が出来て楽しいのではと思います。

- キッチンカー、ベンチ等、「なりみち」の企画で出店してる旨のステッカーや看板等置いたらどうでしょうか？「なりみち」そのものを知らない市民が多い印象を受けました。
- SNS は、LINE・FACEBOOK・Instagram など種類が多く、年代によって使用する SNS が様々なので、それぞれの SNS から何度も発信する必要がある。
- 飲食だけではなく物販もあって良いと思う 物販の方が立ち止まる人が多くなり、賑わってる様に見える効果もありそう。飲食は興味が無いものならば、素通りしてしまう。
- 食だけではなく、音楽やイベントなどと組み合わせるような取り組みを考える。
- 取り組み事態はとても素晴らしいと思います。ただ、周知が足りず実証実験を行っていることを知らない人が多くもったいない。より良い街づくりのため、今後も試行錯誤を継続してほしいです。
- 規模がわかりにくい。需要に対して、出店がやや少ないのではないか。イベントの広報がわかりにくい。他のイベントとの区別を明確にしてほしい。
- チラシや看板パネルを含めた広報案内数が足りていない様に思う。
- ただ通り過ぎる場所だったところに、ベンチやキッチンカーがあることで、人が滞在し、空虚なところから温かみが出ています。駅などではベンチすらほとんどないので、この取り組みは素晴らしいと思います。ベンチが高齢者や浮浪者のような方ばかりが利用するようになると、活性化にはつながらないと思います。
- ゴミ問題についての改善が必要だと思います。特に夜間、設置されたベンチ等で飲酒を行いそのままゴミを放置していく人がいるようで、早朝のゴミが目立ちます。キッチンカーなどにゴミの回収(専用のゴミ箱の設置)をお願いするなどしてはいかがでしょうか。
- ただ椅子とテーブル置いてあるだけでなく、暑さ対策のパラソルとかを置くとか、あとは常に誰か座ってるからもっと椅子を増やすとか。
- テーブルやベンチにごみが放置してあることがあるので、定期的な清掃やゴミ箱の設置も検討して欲しい。

【分析結果】

主な意見を集計したところ、以下の通りとなりました。

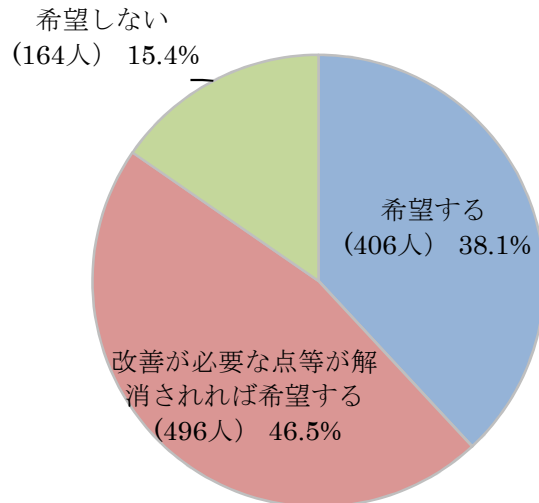
周知に関すること	(121 件)
ゴミ・マナーに関すること	(39 件)
実験内容に関すること	(24 件)
規模拡大に関すること	(23 件)
休憩スペースに関すること	(13 件)
実験場所に関すること	(9 件)

回答のうち、「プロジェクトや制度の周知」に関することが約半数であり、多くの方が内容の周知に改善の余地があると感じていることがわかりました。また、Q10 や Q11 において、「利用していないので分からない」という回答が多かったことから、周知には課題があることがうかがえます。

ほこみち制度では、これまでにはない道の利活用が進められることから、本格実施に向けては、道を利用する多くの皆様に対して、プロジェクトや制度の趣旨を周知し、理解を得ながら進めていくことが重要です。したがって、周知方法についても、「広報なりた」などの既存媒体だけでなく、多くの皆様に知っていただけるよう、様々な周知方法を検討する必要があります。

なお、本格実施に向けて、出店の多様性や規模を向上させたほうが良いとする意見や、飲食により発生するゴミや利用者のマナーを懸念する意見もありました。

[Q14] ほこみち制度の本格実施を希望しますか。
(回答者数=1066)



単一回答		人	%
全体		(1066)	
1	希望する	406	38.1
2	改善が必要な点等が解消されれば希望する	496	46.5
3	希望しない	164	15.4

【分析結果】

ほこみち制度の本格実施については、希望する方が 406 人(約 38%)、改善点が解消されれば希望する方が 496 人(約 47%)となりました。一方で、希望しない方は 164 人(約 15%)でした。

Q10 や Q11 において「分からない」「利用していないので分からない」が多数いる中で、本格実施を希望しないとした方は少ない結果となりました。利用していない方などからも、なりみちプロジェクトの今後に興味をもっている様子がうかがえます。

Q15 Q14 で「希望しない」を選択した方にお伺いします。希望しない理由は何ですか。

ご意見・ご要望については、市で確認をしておりますが、分量の関係から抜粋して掲載しております。

- 詳細な内容が分からない事と一部の市民のみが対象になっている様に感じます。
- ほこみち制度そのものをよく理解していない
- 駅を利用する頻度が低いから。
- 今夏のような酷暑で外に滞留するのは危険が多いと思う。
- このような取り組みに反対だから希望しないのではなく、車がないと、そもそも現地に辿り着けない土地柄なので、駐車可能なエリアがある事が前提でないと、無理がある企画かなと思います。都会向きの企画なのかな、とも思いました。
- うまく利用してもらえたら良いが、他の人に迷惑になるような使い方をする方もいるので何とも言えません。モラルの問題でもあります。
- 駅前を日常利用せず、メリットを感じないから。
- 選択肢でどれを選ぶか、迷ったのでこちらにした。もう少し試験的な運用をやってみて、表参道内で近隣店舗と被らない出店とか、イベント系あると面白くなるのではないかと思います。

【分析結果】

主な意見を集計したところ、以下の通りとなりました。

内容がよくわからない	(52 件)
興味がない、必要性を感じない	(19 件)
効果を感じない	(13 件)
通行の邪魔である	(7 件)
治安、景観が悪化する	(4 件)

「内容がよくわからない」とする意見が最も多いことから、Q13 と同様、「プロジェクトや制度の周知」の方法と内容を工夫する必要があります。

また、本市では車を利用する方が多いことから、「普段から駅を利用することが少ないため」とする意見も多くありました。

【まとめ】

このたびは、「なりみちプロジェクト(にぎわい創出のための道路空間活用実証実験)に関するアンケート」へご回答いただき、ありがとうございました。

本プロジェクトの実施にあたっては、令和 4 年 11 月に実施した「ほこみち制度(歩行者利便増進道路制度)に関するアンケート」により、実際に道を使う皆様からのご意見をいただき、プロジェクトの実施場所や方法について検討いたしました。

また、令和 5 年度からこれまで、JR 成田駅、京成成田駅、京成公津の杜駅の駅前において本プロジェクトを実施し、キッチンカーの出店、イベント、音楽演奏等の支援や、テーブルやベンチの新設に取り組んでまいりました。

そして、この度のアンケートは、本プロジェクトの効果や課題の検証を目的に実施いたしましたが、まだまだ解決すべき課題も多い一方で、皆様からの本プロジェクトへの期待も大きいことがわかり、プロジェクトチーム一同、身が引き締まる思いを感じています。

今後もいただいたご意見をもとに検証を重ね、新たな道路空間の活用に向けて、本プロジェクトを推進してまいります。